



師走を迎えますが

第三波とインフルに対し、強くしなやかな心持ちで

期末テストが終わり、レポートの作成はあるものの普通ならほっと一息というところですが、コロナウィルスの広がりや止まらない状態です。そのうえ、本格的なインフルエンザのシーズンに入ってきました。今年はコロナへの対応が、そのままインフルエンザの予防対策ともなり、例年に比べるとインフルエンザにかかる人がここまでは少ない状況ですが、油断は禁物。ひとたび風邪のような症状が出てくると、感染しているか否か、どちらのウィルスなのかも含めて厄介なことになりますし、濃厚接触などで周りの親しい人たちに影響を及ぼすこともあります。ここで改めて、今の自分の対策状況を振り返ってみましょう。長引く中、少ししい加減になったり、手を抜いてしまったりしているところはありませんか？12月は、クリスマスや年末年始で人の動きが多くなる時期です。まずは、自分がきちんとした予防のための対応を行うことを心がけましょう。



ところでみなさんは、年度当初からのコロナ対応で、少し気持ちが落ち込んでいたりしませんか。いろいろと制限がある中、大人や子供、そして学生も、少し気持ちにゆとりがなくなっていたり、いら立っていたりしがちな昨今です。そんな時だからこそ、周りの人を大事にしたり、人のいい面を見つつけたりするよう努めることが必要になってくると思いますし、気分転換のため、自分がゆったりリラックスできる時間を過ごせるように工夫することも大切なことだと思います。柔軟でしなやかでありながらも、試練に負けない強い心持ちが理想だと思います。以前にもこの便りに書きましたが、コロナ禍の今は「細心の注意を払った対応とゆとりをもった前向きな行動」をめざしてほしいと思っています。「そうは言っても…」という人、「ちょっと気になること（悩み）が…」という人は、ぜひ話しやすい先生やカウンセラーに相談に来てください。みなさんの気持ちを少し落ち着かせるお手伝いができるかもしれません。さあみなさん、もう少しの間、家族や友達、先生たちと、一緒にがんばってコロナに立ち向かっていきましょう。新しい年はもうすぐです。

「一人ひとりを認め、学びあい、夢を拡げる学校」をめざして

神奈川校では、「人は誰もがかけがえのない大切な存在であり、そうした一人ひとりを認めあい、尊重しあって、安心して楽しく学ぶことができ、それぞれの夢の可能性を拡げていける学校」をめざしています。

♡ ちょっといい話(みんなのいいところを見つけよう!)～教職員編

◇正門を入ると

みなさん！毎朝登校して正門を通ったときに、最初にどんなものが目に入りますか？そして、どんなことに気がつくでしょうか？プランターに植えられた花、落ち葉が掃除されて、きれいになった昇降口前のたたきに気がついていませんか。プランターの花々は職員の岩釣さん中心に植えられ、先生方が水やりをしています。昇降口前や入口、正門周辺は、毎朝みなさんが登校する前に、酒井教頭先生、曽我先生、森下先生らがお掃除をしてくれています。そのおかげで落ち葉の多いこの時期でも、昇降口前はきれいな状態で保たれているのです。普通の家でも、玄関はその家の顔と言われます。その顔がきれいな状態であるのは、朝から気持ちがいいものですね。

♣担任の変更について

2年C組担任の大成先生につきましては、かねてより体調不良等あり、10月から多田先生、福神さんにお手伝いをしていただいていたが、12月1日付で多田信太郎先生（理科担当）を正式に担任として、2名担任制で2年C組を担当していくことといたしました。

今年度の残りは少なくなってきましたが、2Cのみなさんは、多田先生にも早く慣れて、いろいろなお話や相談ができるようになればと思っています。よろしく願いいたします。

